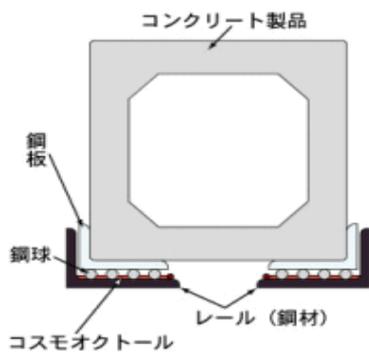
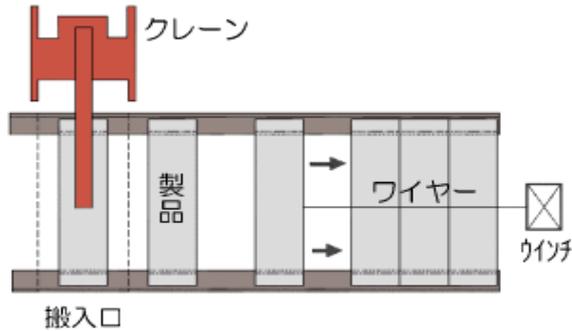


スライドレール マルチスライド工法

NETIS登録番号 CB-060014-A (旧登録)

第11回国土技術開発賞 地域貢献技術賞受賞

マルチスライド工法とは



ボックスカルバートでの参考例



基礎コンクリートにレール(市販品鋼材)を埋設し、レール面へ勾配に影響されることなく偏りのない鋼球散布ができる粘着剤を塗布し、鋼球を介した上にコンクリート二次製品を配置する。そのコンクリート二次製品を牽引等で順次滑走させ移動し布設する工法です。

特徴

- ①プレキャストコンクリート製品をそのまま使用
ボックスカルバート、自由勾配側溝、L型擁壁など多くの製品に使用できます。(基礎コンクリートを必要とする構造物にはご使用いただけません)
- ②特殊な施工専用機械が不要
施工時に特殊な施工専用機械を使用しないで、迅速な移動と確実な設置が出来ます。
- ③クレーンは荷下ろし場所のみでOK
住宅密集地や高架橋・電線等の障害物があり、クレーンでの吊り下げ移動が出来ないところで威力を発揮します。クレーンは荷下ろし作業のみに使用します。
- ④縦断勾配が10%程度でも施工可能
コスモオクトール(専用粘着剤)を使用することにより、鋼球の転動を抑え所定の位置に留めることで偏りを少なくし、鋼球間隔を保持します。こんため散布率も大きく低減され、必要最小限の使用量とすることが出来ます。

レール上にボックスカルバートを配置しています。



鋼球の転動をコスモオクトールにより抑えています。



詳細はお問合せ下さい。

本カタログ記載内容はすべて参考としてお取り扱いください。
また予告なく内容を変更することがありますのでご了承ください。